

タイ大学トップ18校

	学校名	所在地	規模	ホームページ	特徴
1	チュラロンコン大学 (Chulalongkorn University)	バンコク	学生総数:37,626	https://www.chula.ac.th/en/ http://chemistry3.chemistry.sc.chula.ac.th/index.php/en/	タイの首都バンコクのほぼ中心に広大な敷地を占める。ラーマ5世チュラロンコン王によって創設されたタイ最古の大学である。今日でもタマサート大学と並ぶタイの最高学府であって、その歴史と権威は、卒業式を国王が主催し、学生一人一人に卒業証書を手渡すことにも表れている(タマサート大学も同様)。また、タイの政財界界人のほとんどはタマサートまたはチュラロンコン大学出身者で占められている。1.8平方キロの敷地内に医学部、行政学部、工学部、文理学部から発足し、現在は19学部と23単科大学・研究機関を有する総合大学である。学生数は38,000名(学部生24,951名/大学院生13,391名)、2,800名の教員が在籍している。獣医学部では、最新設備の整った動物病院と動物感染実験施設を備え、公衆衛生分野や臨床で活躍する優秀な獣医師を輩出している。大学評価の世界的指標であるThe Times Higher EducationによるQS世界大学ランキング2016/2017では第252位であり、タイ国内第1位である。平成26年5月において、本学のタイからの留学生26名中の6名がチュラロンコン大学出身者である。また、この5年間で総長、副総長の訪問が双方で8度あり、教育や国際連携に関する意見交換を重ねて行っている。食品テクノロジー学科は、食品工学に関する専門的な教育を行う。学士、修士及び博士の学位授与を行う。タイの最難関の伝統ある大学であり、化学分野でも多くの優秀な人材を輩出している。
2	マヒドン大学 (Mahidol University)	バンコク	学生総数:32,675	https://muic.mahidol.ac.th/eng/	Mahidol大学は1888年にSiriraj Hospitalとして設立され、1943年に医科学系大学になり、現在タイではチュラロンコン大学とともにトップレベルの大学として広く知られている。現在17学部(Faculty)、6つの単科大学(College)、7研究所からなり、学生数は約3万人、研究と教育に従事する教職員数は3000人(さらに事務局が5900人)の規模である。特にタイ国王の王女であるHer Royal Highness Princess Chulabhornが医学部教授として在籍していることでも知られている。(http://www.mahidol.ac.th/mueng/faculties.htmを参照) 特に設立時よりメディカalsクールが3つある世界でも希少な大学で、科学系のレベルが高い。理学部は化学をはじめ生命科学と物理、数学科があり、博士前期・後期課程でのインターナショナルプログラムが充実している。1969年にマヒドン大学に名前を変更し、現在は医学、科学、獣医学、工学、人文学など幅広い分野に関する教育研究を行う総合大学である。学部生15,500人、大学院生8,300人が在籍している。200を超える外国機関との交流協定があり、積極的に国際交流を行っている。熱帯医学部は1960年に設置され、熱帯病に重点を置いた教育、研究、医療サービスに取り組み250床の病院を有している。マヒドン大学熱帯医学部は400床の感染症病床を有し、基礎研究から感染症診療まで幅広い活動を行っている。国際医療センターとはマリアリアに関する共同研究を行っている。タイにおける感染症診療、研究における中心な役割を果たす病院である。獣医学部は、1942年に設立され、現在One Medicine, One Helathをモットーに医獣融合を目指して教育、研究を行っている。産業動物・野生動物病院と小動物病院を有している。Veterinary Medical Continuing Education Centerを設立し、獣医師の卒後教育にも取り組んでいる。マヒドン大学は1943年創立のタイの国立大学である。Times Higher Educationの世界ランキングではタイで1位、アジアでは99位(日本では慶応大学が127位、早稲田大学が135位である)の17学部6研究科を有する総合大学である。理学部化学科はその中でも高い評価を受けている学科であり、国が定めるCOEのうち、Center of Excellence for Innovation in Chemistryを化学科が受け、現在プロジェクトの進行中である。学生も海外での学位修得に積極的である。2011年からはインターナショナルコースが併設され、ミャンマーやインドネシアなどアジアからの大学院留学生を多く受け入れ、アジアの看護教育の拠点となっている。
3	タマサート大学 (Thammasat University)	バンコク	学生総数:35,000	https://tu.ac.th/en	タマサート大学は、1934年創立のタイで2番目に古い大学である。1934年法科大学から出発し、現在4キャンパス、人文科学・工学等14学部、18大学院、4研究所に発展し、教員数約1,700人、学生数3万人以上を擁する。タイの国立大学として、チュラロンコン大と並ぶ。うち、大学院課程に図書館情報学を含み、学内に12図書館と文書館がある。現在27学部、計35000名を超える学生がいる。歯学部は1996年にタマサート健康科学センターの中に創設された。現在、PBLやCBLを中心としたユニークなカリキュラムのもとで歯科医師養成を行っている。タマサート大学病院は、タイの他の病院とは異なり、総合大学の中で歯科病院が医科とともに機能しており、医科歯科合計700床を超えるベッド数をもつ。また、タイで初めて高齢者歯科を設置して、嚥下障害などを含む多くの疾患をもつ高齢者の包括医療を医科と共に行う体制を整えつつある。新潟大学歯学部とは、お互いの学術レベルの向上や人材交流のために、平成13年に姉妹校締結を行っている。社会科学、人文科学、科学技術、健康科学の領域で240コースを有しており、学生数は約36,000名。キャンパスはタイ国内に4つあり、Office of International Affairsは、Tha Pra Chan Campusに位置する。QSランキング(2015/2016)では、World University Rankings601-650位、Asian University Rankings143位となっている。1934年に創立されたタイではチュラロンコン大学に次ぐ2番目に古い大学であり、AIMSプログラム(ASEAN International Mobility for Students Programme)等、数多くの国際交流協定を結んでいる。2012年8月に大学間MOUを締結。交換留学をはじめとした学術交流等を行っている。2010年と2012年に行われたサイエンスサマー・プログラムに学生が参加した実績がある。国際交流も盛んであり、英語教育コースも多数揃え、世界各国の大学とMOUを262件締結している。日本の大学とは、筑波大学、大阪大学、広島大学、九州大学、九州工業大学、京都大学など65の大学と交流協定を結んでいる。日本語では法政大学と呼ばれていた。タイが王政から民主主義体制へと移行した2年後の1934年6月27日に法学者であり首相、元老などを務めたプリーディー・パナムヨンによって創設された。タイで最も歴史のあるチュラロンコン大学に次ぐ歴史を有する。国立大学で、王宮の近くに所在する。チュワン元首相をはじめとして世界の多くの著名人を輩出している。シリントーン国際工学部は、タマサート大学の一機関ではあるが、運営・経営資金等は完全に独立している。科学、技術、エンジニアリングなどの理系の教育や、経営学などの教育がすべて英語のみで行われており、国際的な教育・研究プログラムを多く有している。日本国内の大学とも多くの連携プログラムがあり、多くの日本人学生の留学先となっている。1934年創設。医学、看護、理学、公衆衛生、教養、法学など17学部から成る。学生数およそ34,000人。タイで2番目の歴史を有し、そのブランドはチュラロンコン大学に次ぐ2位。政治、経済に著名人を多数輩出する名門校である。QSランキング(2015/2016)では、World University Rankings601-650位、Asian University Rankings143位となっている。SIITは経団連とFederation of Thai Industries (FTI)の協力的なタイ国の産業発展を目的として設置された。英語による工学教育を行う機関である。SIITは1992年にバトゥムターニー県に設立されたタマサート大学の独立高等教育機関である。英語による教育のみが行われている国際大学であり、LAOTSE(Links to Asia by Organizing Traineeship and Student Exchange)ネットワークの大学として諸外国の高等教育機関と連携している。

4	チェンマイ大学 (Chiang Mai University)	チェンマイ	学生総数:35,979	https://www.cmu.ac.th/en/	<p>チェンマイ大学は、1964年にタイ王国で最初の地方大学として、また、タイ王国北部で最初の高専教育機関として、プーミポン・アドゥンヤデート国王（ラーマ9世）の勅許によって設立されたタイ王国北部のチェンマイ県にある大学。1924年に農業教員養成学校として設立し、1948年に教育専門の養成を目的に教員養成学校を母体とした。1984年にChiang Mai Rajabhat Instituteに改名し、2004年にChiang Mai Rajabhat大学となっている。学生数は約35,000人（社会人コースを含む）（2015年現在）でほとんどは地元や北部地方の高等学校出身の学生であり、タイ北部地域を中心とする包括的教育機関となっている。現在、5つの学部と1つの大学院と1つの国際大学コースから構成される。5つの学部のうちFaculty of Science and Technologyは理工学その他保健衛生学科も加わる総合理工系の学部である。今回はFaculty of Science and Technology所属の理工学専攻の学部生が参加する。教員養成学校の時代から卒業生が県内外の学校教員として勤務し、その評価は高い。特に理工学部と教育学部との共同教育課程の理科教育学科の評価は高い。教員数2283人。日本語学、人文学をはじめ20研究科を擁する。図書館は、北部最大規模であり、蔵書数約107万冊、スタッフ数133名。タイ伝統文化やランナータイ王国由来の稀少資料コレクション、またタイ国内有数のマイクロフィルムコレクションを有する。また東南アジア各国での教育実習経験を提供するSEA Teacher Project (Pre-Service Student Teacher Exchange in Southeast Asia)に2016年の第1回目から毎年選ばれるなど国外からの評価も高い。</p> <p>同大学看護学部は、世界保健機構（WHO）の看護および助産に関する開発共同センター（WHOCC #203）、豪州アデレード大学、保健科学学部のThe Joanna Briggs Institute (JBI) によるタイCentre for Evidence-Based Health Careの指定を受けた。これまで、多くの国際学会を主催してきており、優秀な招聘対象者を有する機関と考えられる。2016年には看護学に関する共同研究も開始された。国際レベルのプログラムへの需要に対して、現在60以上の国際的なトレーニング・コース、3つのインターナショナル・プログラムにおける学士課程と23のインターナショナル・プログラムの修士博士課程の学位課程を提供している。</p> <p>特に環境研究、教育には力を注いでおり、タイ北部地域の自然保護や汚染対策に加え、山岳民族を対象とした環境教育なども実施している。国民文化へのこだわりを重要視し、特に「北（ラーナー）」の文化の維持を意識の中心に据えている。こうした意識は、大学研究者らの行っている環境破壊や乱開発への批判や提言に見ることができ、国際的評価が高い。</p> <p>2014年に創立50周年を迎えた。市内3ヶ所と周辺1ヶ所を合わせたキャンパスは、1400haと広大である。</p>
5	カセサート大学 (Kasetsart University)	カセサート	学生総数:67,000	https://www.ku.ac.th/th	<p>カセサート大学はタイ国農林水産省付属の農科大学を母体として1943年2月に独立し、農・林・水産学等の拠点大学として設置された。また、タイのトップランキングに位置する大学でもある。QSの大学ランキングにおいて401～500位にランクされている。タイにおいては、最初の農科大学であり、タイでは3番目に古い大学でもある。カセサート大学は、農学に関する科目を奨励することを重要な目標に掲げて1943年2月2日に創立された。現在に至るまでカセサート大学は、そのカリキュラムを変えていき、学科も科学、芸術、社会学、人文学、教育学、エンジニア、建築などにまで広がってきました。最近では、薬学や健康科学の分野にも試みを広げてきた。カセサート大学は、タイ国内に7つのキャンパスを持ち、本部としてパーンケンキャンパスがある。低平地沿岸海域研究センターのサテライトが2014年に開設されており、円滑な連携が可能である。</p> <p>農科大学を発祥とする、化学、生物学に強いバンコクにある総合大学。13の学部、大学院、研究所を持つ総合大学で、タイ国内のランキングでは常にトップ5にランクされているタイで最も権威の大学の一つである。科学、芸術、社会学、人文学、教育学、工学、建築などの学科があり、国内に7つのキャンパスがある。学生数は、58,000人以上であり、タイでもっとも規模の大きい大学の一つである。（バンコク校、カンファレンス校、シリラチャ校、サコンナコーン校）あり、本部機能はバンコク校にある。本学とは部局間協定を締結しており、近年、情報、ロボットへの関心が高まる中で、留学機会を考える学生が多い。タイでは、トップ3に入る学力である。水産学部はバンコク市内のメインキャンパスにあり、大学の開学とともに開設され、淡水生物、海産魚類の高いレベルの研究で知られている。交流事業協力機関の一つである東北県立大学とは学術交流協定に基づき、エビ養殖技術の共同開発を進めている。2010年より国際化を強く推進しており、現在熱帯農学、バイオエネルギー、持続的農業の分野で大学院国際プログラ</p>
6	コンケン大学 (Khon Kaen University)	コンケン	学生総数:35,417	https://www.kku.ac.th/	<p>タイ東北地方を代表する総合大学。PERCH-CIC (Center of Excellence for Innovation on Chemistry)メンバー校のひとつ(参照: http://www.perch-cic.org/)。コンケン大学は、タイ王国東北部における最大の総合国立大学である。</p> <p>コンケン大学は、現在タイで5番目の規模を誇る総合大学で、医学部、歯学部、薬学部、教育学部、工学部、理学部等19学部、3つのカレッジ、335のアカデミックプログラム、学生総数約3万5千人、教職員1千人を擁する大学である。タイではトップ9の1つに数えられる大学であり、タイ国内のみならずラオスやベトナム、インドネシアなどのASEAN諸国から多くの優秀な学生が集まっている。受入れ機関である本学とは大学間国際交流協定を結んでいる。医学部は、タイ東北部の寄生虫感染及び感染症による発症に対して、高水準の教育・医療及び研究を行っており、タイ及び大メコン圏の感染症対策を牽引する存在である。建築学部は1988年に設立され、知識、道徳、知恵のバランスのとれた卒業生を育成することを目標としている。地域社会にサービスを提供し、地域の文化的遺産を支える人材を輩出している。</p> <p>また、タイ東北部最大の総合大学として農業エリアであるタイ東北部の振興に関する教育と研究を推進している。近年ではASEAN統合を契機に、立地条件を活かして、隣国のラオス・カンボジア・ミャンマーからの留学生を積極的に受け入れ、ASEANのリーディング大学となっている。農業経済学科は、カセサート大学及びチェンマイ大学と並んで、タイ王国における農学部社会科学系学科として異彩を放っており、最貧地域と称される東北タイ農業の振興に貢献してきた。また、卒業生も、これまでに農業協同組合を始め、農林系金融機関等において、地域農業や地域経済の発展の一翼を担っている。</p> <p>獣医学部は、1986年に設置された。獣医学部には、タイ経済の成長と教育促進により、ラオス、ビルマ、カンボジア、ベトナムなど近隣の国からの学生も多い。学生は、幅広い学術、臨床、研究コースを修了する。VTH (Veterinary Teaching Hospital) が設立され、動物医療、獣医学の練習、動物の健康に関する研究など様々な活動を支援している。</p>
7	モンクット王工科大学トンブリー校 (King Mongkut's University of Technology Thonburi (KMUTT))	バンコク	学生総数:16,836	https://www.kmutt.ac.th/	<p>モンクット王工科大学トンブリー校は、タイ王国の首都バンコク都トゥンクル区にある大学である。当大学は、バンコク都内に2か所とラーチャブリー県チョームブン郡に1か所の合計3か所のキャンパスを有している。KMUTTは教育、タイの指導により省の研究トップ10のトップ5にランク。ワールドクラスの機能を備えたナイン国立研究大学の一つに指定されています。在学生数約16万人。タイで初めて創設された工科大学。Times Higher Educationの世界ランク351～400位ながら、タイでは唯一のランクイン。タイ政府にも、研究分野で国内5位以内、教育の質で同10位以内と評価されている。工学部、産業教育技術学部、理学部の3学部及び建築デザイン研究科や生物資源工学研究科等の6つの大学院がある。同大学は、研究面においてタイの第1グループに入っている。2016年Times Higher Educationのアジア大学ランキングで98位。タイ国内では、研究ランキングで国内5位以内、教育の質で同10位以内と高く評価されている。卒業生から日系企業の現地法人に多くの幹部を輩出するとともに、卒業後、日本の大学で大学院生として留学する学生も多く、わが国との関係も深い。初めてタイで独立行政法人化した大学である。現在工学部分野でリーダー国立研究大学となっており、現在タイで一つだけTHE世界ランキング400位以内に入った大学である。2016年に生物資源バイオテクノロジー学部と埼玉大学大学院理工学研究科との学術交流および学生交流の協定を締結している。交流先の学部は特にバイオインフォマティクス技術に優れ、埼玉大学に欠落している技術基盤が充実している一方、生化学的な研究体制はあまり充実しておらず、相互補完的な共同研究の推進により質の良い研究交流の土台構築が可能と考えられる。KMUTTは学生数約16,000人のタイにおける研究力トップ5にランクされる工科大学である。タイ・文科省選定の教育10大学に入っていて、さらに、SCIMAGO Research Groupが2010年に公表した機関ランキングにおいて自然科学系の研究分野において4位にランクされる世界的レベルのタイを代表する国立大学である。</p>

8	プリンスオブソンクラーク大学 (Prince of Songkla University)	ソンクラーク	学生総数:30,000	https://en.psu.ac.th/	1967年に創設されたタイ南部最初の総合国立大学であり、タイに設置された9研究大学の一つに指定されている。QS大学ランキング2020ではタイで8位、アジアで156位である。人文社会学部(招へい:4名)は1974年に設置され、地質学や社会学など8学科を有し、言語科目から社会科学、科学技術などまで幅広く学習している。付属高等学校は、タイ国内に11校あるサイエンススクールの一つに指定されている。理工学部での特別講義・実験や特別カリキュラムの実施など、高大連携教育も推進している。また、全国統一試験の総合成績においても、タイ国内で上位20位以内に入るなどの優秀な成績を収めている。さらに、生徒からの強い要望もあり、2013年から日本語教育が実施されている。 教育学部付属高等学校は1969年に設立され、タイ国内に11校あるサイエンススクール (Science School) に指定されている。プリンスオブソンクラーク大学理工学部での特別講義・実験や特別カリキュラムを実施するなど、高大連携教育も推進している。また、O-NET (Ordinary National Educational Test, 全国統一試験)の総合成績においても、タイ国内で上位20位以内に入るなどの優秀な成績を収めている。さらに、生徒からの強い要望もあり、2013年から日本語教育が実施されている。全学生数約3万人。5キャンパスに30研究科、2病院、40研究センターを擁する。医薬学部、理工系学部が傑出する。中央図書館に相当するKhunyong Long Athakravisunthorn Learning Resources Centerは、管理・リソース・サービスの3部門、司書、ICT技術者を含むスタッフ数43名。理工系に特色の総合大学として、電子図書館化をめざしてデジタルアーカイブやリポジトリ PSU Knowledge Bank (PSUKB) の独自開発を行っている。 タイ南部最高峰の総合大学。PERCH-CICメンバー校のひとつ。
9	アジア工科大学院大学 (Asian Institute of Technology, Thailand)	バトゥムターニー	学生総数:1,607	https://www.ait.ac.th/	1959年に創立された大学院大学。アジア工科大学院は、工業技術学部、環境・資源・開発学部、経営学部の3学部からなるアジア有数の国際大学であり、世界60か国から2,000人の学生を受け入れている。アジアの研究教育活動をリードするエリート大学院として高い知名度を誇る。工学、環境資源開発、経営分野で特に評価が高い。学内公用語は英語。U-Multirank、QS Stars rating programなどの大学の格付けシステムにおいても、機関の国際性に対して最高レベルの評価が与えられている。地理情報システムセンターではGNSS、GIS、リモートセンシングなどの地理空間情報に関する研究を行っている。周辺国を含め優秀な学生が集まっている。国連がサポートする衛星測位に関わるGNSSワークショップの受け入れ大学でもあり、同技術に関心を持つ優秀な学生が多い。学生の国籍も様々であり、広く南・東南アジア全体から学生が集まっており、出身者は各国において、科学・技術のリーダーとして活躍しており、アジア工科大学との交流は広く南・東南アジア全体への技術的浸透を図る意味で効果的である。
10	メーフアルアン大学 (Mae Fah Luang University)	チェンライ	学生総数:15,000	Home Mae Fah Luang University (mfu.ac.th)	タイ国立メーフアルアン大学はタイ北部のチェンライに本部を持つ。14の学部と2つの附属病院を有する総合大学である。2019年度のタイ国内大学ランキングでは17位となっている。同大学はすべて英語で教育プログラムを行っており、卒業生は英語圏での活躍が期待できる十分な語学力を有している。交換留学、交流プログラム参加する学部生は特に高い語学力を有する。
11	ブラバ大学 (Burapha University)	チョンブリー チャンタブリー	学生総数:42,000	https://www.buu.ac.th/	タイ東部のブラバ大学はタイ東部チョンブリー県公立大学。1990年に総合大学となった。1955年設立。学生数約46千人、教員数2959人。3キャンパスに22研究科、4カレッジ、3研究所を擁する。教育大学として出発した経緯から、外国人向けタイ語研修を含む教育施設・サービスが充実し、日本語教育モデル校ともなっている。「イノベティブ・アジア」プログラムのパートナー対象に選ばれるなど、タイの上位の大学である。図書館は、蔵書数38万冊、スタッフ数64人。館内OPAC、電子リソース、各種AV施設、ミニシアターを備え、テキスト・AVメディアなど教材を主とした蔵書構成となっている。PERCH-CICメンバー校のひとつ。
12	King Mongkut's Institute of Technology Ladkrabang	バンコク	学生総数:8,000	https://www.kmitl.ac.th/en	KMITLは、日本政府の技術支援を受けて、1960年にノンタブリー県に電気通信訓練センターとして設立された。センターは後にノンタブリー電気通信研究所と名付けられた。スワンナプーム空港近くのラートクラバンへ移転後、キャンパスはモンクット王工科大学のラートクラバン校となった。日本側では、東海大学 (1977年)、東京工業大学 (1992年)、電気通信大学 (1997年) が同校と学術交流協定を締結し、大学の拡張、人材育成を行った。特に第2期 (1978年12月~1983年8月) および第3期 (1983年4月~1993年3月) のプロジェクト型技術協力プロジェクトの一環としての研究が活発化した。1971年には日本企業が資金を提供する奨学金制度が確立され、実習制度 (1977年)、建設奨学金制度 (1989年) などが設立された。種々の招待プログラム実施を通じて人的交換が促進された。
13	キングモンクット工科大学ノースバンコク校 (King Mongkut's University of Technology North Bangkok)	バンコク	学生総数:2,000-2,999	https://www.kmutnb.ac.th/?lang=en	キングモンクット工科大学ノースバンコク校 (KMUTNBまたはKMUTノースバンコク) または通称「プラナコンヌエア」 (タイ語: พระนครเหนือ) はタイの工科大学。バンコク、ラヨーン、プラチンブリー県にわたり3つのキャンパスがある。KMUTNBは、1959年にタイ王国政府とドイツ連邦共和国によって設立され、「タイ・ドイツ技術学校」として始まった。1964年に、同大は「タイ・ドイツ工科大学」に昇格されました。1971年、タイ・ドイツ工科大学はトンブリー工科大学およびテレコミュニケーションカレッジ・ノンタブリーと合併され、キングモンクット工科大学の北バンコクキャンパスとなった。1986年、モンクット王の工科大学は3つの自治大学に分かれた: ●モンクット王工科大学ラートクラバン ●モンクット王工科大学トンブリー校 ●キングモンクット工科大学ノースバンコク校 1995年、KMUTNBはプラチンブリー県の土地を取得し、新しいキャンパス「KMUTNBプラチンブリー」を設立した。
14	マハサラカム大学 (Mahasarakham University)	Maha Sarakham	学生総数:46,693	https://inter.msu.ac.th/	MSUは、17の学部、2つの専門カレッジ、から成る総合大学。-MSUには2つのキャンパスがある -MSUは合計177の学位プログラムを提供している。その内訳は87の学士号プログラム、57の修士号プログラム、33の博士号プログラム。 -2016年時点MSUには1,268人の学術スタッフと2,316人のサポートスタッフが在籍。 -2016年時点MSUには40,759人の学生がおり、そのうち49人はディプロマ課程生 (0.12%)、37,644人が学部生 (92.36%)、2,206人の修士課程学生 (5.41%)、860人の博士課程の学生 (2.11%) である。 2016年時点、MSUはカンボジア、中国、インド、インドネシア、日本、ラオス、パキスタン、韓国、スウェーデン、台湾、英国、米国、ベトナムから123人の留学生を迎えた。 -MSUには、コミュニティからの協力およびサポート教育に関わるの30以上の主要な教育ユニットがあります。 -2016年、MSUは合計予算11,570,000バーツに上る148のコミュニティ貢献活動に着手し、さらに多くのプロジェクトが翌年始動する予定。 -2016年、MSUは166の研究プロジェクトを実施し、総予算は46,100,628THB (タイバーツ) であった。
15	ナレスアン大学 (Naresuan University)	Phitsanulok	学生総数:20,000	https://www.nu.ac.th	ナレスアン大学は国内外で適用され受け入れられる新知識習得や多様なスキル獲得の促進、パートナーシップの強化を通じた経済的・社会的発展、ネットワークの活性化を目指している。優秀な学生の輩出、商業・ビジネスにつながる研究、および大学の能力・データおよびリソース管理を最適化するための学術サービスを促進するため、タイ国内外の機関とのネットワークを継続的に拡大している。これらはすべて、ナレスアン大学が2021年以前にQS世界大学ランキングでランク付けされた (上位250の大学) という根拠で、大学のビジョンが結果としてランキングにあらわれた。

16	シルパコーン大学 (Silpakorn University)	バンコク	学生総数:25,210 (2016)	https://www.su.ac.th/en/about.php	シルパコーン大学は現在、文部省高等教育委員会の監督下にあり、1933年に美術学部傘下の美術学校として設立された。主に、絵画に関わる唯一の教育プログラムを提供してきた。公務員と学生の授業料を免除している。ラマ6世時代、芸術局で働くように依頼されたイタリアの彫刻家が美術学校の設立に率先して取り組み、関心のある一般市民も学べるよう取り計らった。学校は徐々に発展し、1943年10月12日に正式にシルパコーン大学と名付けられた。最初に開講されたのは絵画彫刻学部。1955年以降、タイ伝統建築に特化した建築学部が設立され市民の学術的関心が高まったのを受けてさらに、考古学部と装飾芸術学部の2つの学部が相次いで設立された。
17	シーナカリンウィロート大学 (Srinakharinwirot University)	バンコク	学生総数:25,000	https://www.swu.ac.th/en/	シーナカリンウィロート大学 (略称: SWU タイ語: มหาวิทยาลัยศรีนครินทรวิโรฒ 略称: มศว) は1949年に設立された国立大学。教師の養成に特化した初的高等教育機関。大学名は「都市の栄光 (大学)」を意味する。同大にはバンコクのワットナー地区にあるブラサーンミットキャンパスとナコンナーヨック県のオンカラック地区にあるオンカラックキャンパスの二つのキャンパスがある。その他には、サケオ州とチェンマイ州のメーチェム地区にあるBhodivijjalayaCollegeのキャンパスがある。同大にはもともと以下8つの地域キャンパスがあった。Prasanmitar、Pathumwan、Bang Saen、Phitsanulok、Maha Sarakham、Songkhla、Bang Khen、Phala Suksa (体育)。ブラサーンミットキャンパスは大学の本部として存続し、バトゥムワンキャンパスは現在同大の教育モデル校であるバトゥムワン・デモンストレーションスクールとして機能している。各キャンパスの中には新しい大学へと発展していったものもある。ブラファ大学 (旧バンセンキャンパス)、ナレスアン大学 (旧ビサスロック・キャンパス)、マハサラカム大学 (旧マハサラカム・キャンパス)、タクシン大学 (旧ソングラー・キャンパス) などはシーナカリンウィロート大学から発展・独立していった。その後バンケンキャンパスは閉鎖され、本部ブラサーンミター・キャンパスに移転した。旧来の土地は現在、ブナコンラジャバット大学によって占められている。また、ファラスクサ・キャンパスは閉鎖され、体育学部として有名なオンカラック・キャンパスに移転した。
18	スラナリー工科大学 (Suranaree University of Technology)	Nakhon Ratchasima	学生総数:13,734	http://www.sut.ac.th/2012/en/	スラナリー工科大学 (タイ語: มหาวิทยาลัยเทคโนโลยีสุรนารี) はナコーンラーチャシーマー地元の伝説的ヒロイン、タオスラナリにちなんで名付けられた。タイの9大国立研究大学の1つ。大学の学期制は13週間で1学期というシステムが採用されている。大学には、物理学、材料科学、および関連分野の高度な研究を可能にするシンクロトロン光研究所 (SLRI)、旧国立シンクロトロン研究センター (NSRC) がある。第5次国家経済社会開発計画の期間中、タイ王国政府は、地方および農村地域で高等教育の機会が増えることを望んだ。したがって、1984年に、大学省 (現在は教育省の一部である高等教育委員会の事務所) は、5つの新しい地域大学の設立を提案した。そのうちの2つが東北部にある。特に同省は、北東部のウボンラチャタニ県とナコンラチャシマ県にあるコンケン大学と提携している大学を提案した。ナコンラチャシマの大学はスラナリー大学と呼ばれ、ナコンラチャシマ県ムアンナコンラチャシマ地区のファイバンヤン貯水池に所在する1,120ヘクタールの森林地帯に建設された。1990年7月27日、プミポン国王陛下は、スラナリー工科大学の創設法案に署名しその日が同大創立の日となった。